

教科	国語	学年	3学年	
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)		単元のまとまりの評価規準
世界はうつし いと	1	●詩に用いられている語句や表現に着目して考えている。 ●進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。		◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)
握手	4	●抽象的な概念を表す語句を用いて、登場人物の人物像を表している。 ●「現在」と「回想」の部分を読み分け、物語の展開のしかたの効果について考えている。 ●文章の内容に沿って登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。 ●物語の展開のしかたを粘り強く捉え、今までの学習を生かして読み深めた感想を交流しようとしている。文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表C(1)ア)		◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。(思・判・表C(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。(知・技(1)ア)
漢字に親しもう	1			
夏草―「おくのほそ道」から	5	●作者や作品について興味をもち、俳句と地の文との関係に注意しながら読み、作者の思いを想像している。 ●古典の言葉を引用して、心に響く俳句について発表している。 ●作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の知識や経験と比べながら、自分の考えをもっている。 ●人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、古文を暗唱したり意見を述べたりしようとしている。		◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。(知・技(3)イ) ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。(思・判・表C(1)イ)
作られた「物語」を超えて	4	●ゴリラの事例と人間社会の話に着目して、具体と抽象の関係を理解している。 ●論説の特性を踏まえ、「意見と根拠」「原因と結果」「具体と抽象」などの関係に着目して、論理の展開のしかたを図式化するなどして捉えている。 【態】進んで文章の構成や論理の展開を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア)		◎文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)
プレゼンテーションをしよう	7	●これまで学んだことを活かして、情報の発信者・出典、調査方法、情報の数などが適切か確認して、必要な情報を集めている。 ●興味を引く導入や明確な主張、聞き手が納得できる根拠や提案の設定、適切な説明の順序などを考えて、話を構成している。 ●聞き手の興味を引く問いかけや強調表現を取り入れたり、聞き手の反応に応じて話の内容を補足したりするなど、工夫して話している。 ●相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを伝えようとしている。		◎自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。(思・判・表A(1)イ) ◎場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ◎提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする。(思・判・表A(2)ア)
漢字に親しもう	1	●第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。		◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。(知・技(1)ア)
慣用句・ことわざ・故事成語	1	●慣用句を使って短文を作ったり、ことわざを調べたりしている。 ●慣用句やことわざの意味や使い方について積極的に調べて理解し、今までの学習を生かして短文を作ろうとしている。		◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)
和歌の世界 君待つと	3	●三つの歌集の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や詠まれた情景を想像している。 ●特徴的な和歌の表現を引用して、自分の考えをまとめている。 ●和歌の表現方法について、その効果や、表されている心情などを踏まえて評価している。 ●進んで和歌の表現のしかたについて評価し、学習の見通しをもって自分の評価を書こうとしている。		◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。(知・技(3)イ) ◎和歌の表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表C(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)
相手や場に応じた言葉遣い	1	●実際に敬語を使う場面を想定しながら相手や場に応じた表現を考え、敬語について理解を深めている。 ●相手や場に応じた言葉遣いや表現の選び方について進んで理解し、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。		◎敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。(知・技(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)
気になるニュースを集めよう	3	●選んだ題材を多角的に分析し、自分の考えと結び付け具体例を考えている。 ●文体や表現技法などを検討したり、自分の意見を支える根拠となる資料を引用したりして、文章表現を工夫している。 ●自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように、粘り強く工夫し、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。		◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア) ◎表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ◎関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)

令和7年度 評価規準

学校名: 江戸川区立松江第一中学校

俳句の可能性・俳句を味わう	2	●俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。 ●俳句の構成や表現のしかたについて評価している。 ●進んで表現のしかたなどを評価し、学習課題に沿って鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ◎俳句の構成や表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表C(1)ウ)
漢字コンテスト	1	●与えられた課題に対して懸命に取り組み、学年別漢字配当表に示されている漢字について書くことができる。 ●与えられた課題に懸命に取り組み、学年別漢字配当表に示されている漢字について正確に書こうとしている。	◎学年別漢字配当表に示されている漢字について文章の中で使うことができる。(知・技(1)ア) ◎言葉がもつ価値を認識し、適切に使う。(学びに向かう力、人間性等)
俳句の創作教室	1	●自分の思いや考えがわかりやすく伝わるように、語句や表現を工夫して俳句を創作している。 ●進んで表現のしかたなどを評価し、学習課題に沿って俳句を創作したりしようとしている。	◎表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる俳句になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)
実用的な文章を読もう	2	●文章の種類や情報の発信者の立場や意図を踏まえて、論理の展開のしかたにどのような工夫が見られるか、捉えている。 ●事実や事例の選び方、取り上げ方や、語句・写真の選び方、レイアウトなどに着目して記事を読み、書き手の思惑や意図について考えている。 ●情報の信頼性の確かめ方を積極的に使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。また、文章の構成や論理の展開、表現のしかたなどを進んで捉え、学習課題に沿って報道文を比較し、自分の考えをまとめようとしている。	◎話や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。(知・技(1)ウ) ◎文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方にについて考えることができる。(思・判・表C(1)イ) ◎実用的な文章を読み、実生活への生かし方を考える。(思・判・表C(2)ウ)
文法への扉 1, 2	2	●「ない」の違いについて品詞や働きの違いを文章の中で理解している。 ●単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、今までの学習を生かして課題に取り組もうとしている。	◎単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解することができる。(知・技1年(1)エ、2年(1)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)
論理の展開を意識して書こう	5	●資料から得られた事実とその解釈、それを基に考えたことを、自分の言葉で書き出している。 ●説得力のある文章にするために、論理の展開や意見と根拠、その結び付きを考えながら、文章の構成を工夫している。 ●論理の展開や意見と根拠、それらを結び付ける「理由づけ」などを粘り強く考え、学習課題に沿って説得力のある小論文を書こうとしている。	◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ◎文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。(思・判・表B(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)
高瀬舟	6	●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ ◎文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ ◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ ◎文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。C(1)ア ◎粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
初恋	3	●理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) ●言葉の響きやリズムを味わいながら詩に親しんでいる。 ●進んで語感を磨き、今までの学習を生かして作品を読んだり自分の考えを述べたりしようとしている。	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)
和語・漢語・外来語語彙を豊かに	2	●和語・漢語・外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けしている。 ●古典や近代文学、年配の人との会話の例などの中から、自分たちの世代とは異なる言葉の使い方を見つけている。 ●進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして、相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。 - また、言葉の変化や世代による言葉の違いを進んで理解し、相手や場面に応じた言葉を選んで伝えようとしている。	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ◎時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。(知・技(3)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)
情報の信ぴょう性	1	●情報の発信日時、発信源、情報を伝える目的などの観点から、情報の信頼性を確認している。 ●積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。	◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。((2)イ)
200字作文を書こう	1	●「事実と意見」「意見と根拠」「具体と抽象」など情報と情報との関係に着目しながら、課題に取り組んでいる。 ●読み手からの助言を踏まえ、論理の展開に着目しながら文章を確かめ、必要に応じて整えている。 ●目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確認して推敲し、読み手からの助言や、情報と情報との関係についての知識を生かして、書き改めようとしている。	◎論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表B(1)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

複数の意見を 読んで考えよ う	4	●一つの課題に対して書かれた複数の文章を読み比べることが、自分の生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。 ●文章の語句や表現を根拠に筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の知識や経験、他の人の考えと比べながら批判的に読んでいる。 ●提言の内容、論理の展開、表現のしかたなどについて、根拠を明確にしながら評価している。 ●三つの文章を批判的に読むことに粘り強く取り組み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。	◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)オ) ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。(思・判・表C(1)イ) ◎文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表C(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)
それでも、言葉	4	●抽象的な概念を表す語句について、言葉の意味を辞書などで確かめたり、具体的な事例を挙げたりしながら理解している。 ●文章を多角的に検討したり、例証や反証を試みたりして、筆者の考えについて理解を深めている。 ●友達と意見を交換しながら、筆者の考えについて自分の考えをまとめ、発表している。 ●言葉や社会、人間などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。	◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア) ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。(思・判・表C(1)イ) ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)
漢詩の風景	2	●作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ●漢詩の構成や表現の特徴を意識して朗読している。	◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア)
古文・漢文の 復習	1	●解説の文章を手がかりにして、詩の作者の思いを想像し、古人のものの見方、考え方について考えを深めている。 ●進んで漢詩の構成や表現の効果を考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。	◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。(知・技(3)イ) ◎観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)
一冊読み カ ラフル	6	●文庫本を一冊読み通すことで、読書の楽しみに気づかせ、交流を通して人物像を考えさせることで物語の読み取りを深める。	◎抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ ◎文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。C(1)ア ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ ◎すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって自分の考えを深めようとしている。
合意形成に向 けて話し合お う	6	●複数の発言の共通点を結び付けて、一つの提案にまとめたり、複数の発言の中からよい点を取り上げたりしている。 ●進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 ●提案を分類・整理し、観点を決めて検討したり、互いの意見の長所を生かしたりして話し合っている。 ●合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。	◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア) ◎進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表A(1)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ◎互いの考えを生かしながら議論や討論をする。(思・判・表A(2)イ)
国語の力試し	4	●これまでの学習活動をふまえ、古典的文章や説明的文章、物語的文章を批判的に読み、文章に表れているものの見方や考え方を考え、表現する。 ●粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。	◎これまでの学習活動をふまえ、古典的文章や説明的文章、物語的文章を批判的に読み、文章に表れているものの見方や考え方を考え、表現すること。(思・判・表C(2)イ、ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)
故郷	4	●文学作品を読むことが、自分の人生や自分が生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。 ●自分の知識や経験と比べたり、語り手や人物の立場、時代背景などを変えて読んでみたりして、作品のもつ特性や価値を探っている。 ●文章を批判的に読むことに積極的に取り組み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。	◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)オ) ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。(思・判・表C(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)
漢字の復習	1	●漢字の組み立てと部首、音訓、成り立ち、熟語の構成、同じ訓・同じ音をもつ漢字、送り仮名、熟語の読み方、漢字の造語力など、3年間で学習した漢字の内容を理解している。 ●学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	◎第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。(知・技(1)ア) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)
本の世界を広 げよう	1	●読書によって、さまざまな状況に生きる人々やそこで活動する人々について知ったり、読書が自分の生き方を支えてくれることに気づいたりしている。	◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)オ)

3年間のまとめ	3	●自分で設定したテーマと内容、目的に合う文章の種類を検討している。 ●記事の内容を効果的に伝えるために、紙面と文章の構成を工夫している。	◎場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ◎情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く。(思・判・表B(2)イ)
ほめほめスピーチをしよう	1	●友達のよさを見つけ褒めていくスピーチを通して、自分の考えが分かりやすく伝わるよう表現を工夫する。	◎場の状況に応じて言葉を選び、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫すること。((思・判・表A(1)ウ))
手書きのよさって、何だろう	1	●手書き文字のよさについて、理解することができる。	◎手書き文字のよさについて、理解することができる。[知技(3)エ(ア)、A(1)オ、(2)イ]
全国文字マップ	2	●身の回りには文字による多様な表現があることを理解することができる。	◎身の回りには文字による多様な表現があることを理解することができる。[知技(3)エ(ア)]
文字の使い分け	1	◎身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。	◎身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。[知技(3)エ(ア)、(1)ア、A(1)オ、(2)イ]
書初め	3	●今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)エ(ア)、(1)ア]
冊子にまとめよう	6	●今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)エ(ア)、(1)ア、B(1)全、(2)イ]